

に甘んじた新島新田が、納税者の努力によって見事に完納の快挙を成し遂げました。以下、新青、伸和会、栗山4、中台等が前年度収納率を大幅に上回りました。

収納率 ダウンは25地区

一方、前年度より収納率が低下した地区は25地区で、特に、新生会が激しく落ち込んだほか、三島、東町3、栗山東部、上町5等が前年度収納率を大幅に下回りました。

多額滞納地区は 東町3

滞納地区は、前年度より2地区減って54地区となったものの、滞納額は二百三十万円増えて三千五百六十九万五千円となりました。

この滞納額を地区別に見ると、最も滞納額が多い地区は東町3の三百八十九万九千円、次いで南部2の三百五十二万七千円、3位が南部1の二百五十九万五千円、4位が東町1の二百七十七万七千円、5位が古川の二百二万三千円の順となっています。

少額滞納地区は 坂田

一方、滞納額の最も少ない地区は、坂田の七千円、次いで長倉の三万円、3位が木戸の四万四千円、4位が谷台の五万九千円、5位が小堤と緑台の六万三千円の順となっています。このほか、滞納が十万円以下の地区は3地区となっています。

納税組合加入率 100%は3地区

納税組合加入率100%の地区は、姥山、本郷、新島荒場の3地区です。また、平均加入率を上回っている地区は47地区となっています。

納税組合 未結成は5地区

一方、納税組合の未結成地区は、大島団地、新生会、南部1、南部2、四六会の5地区です。また、平均加入率を

下回っている地区は21地区となっています。

収納状況 地域別 では大総がトップ

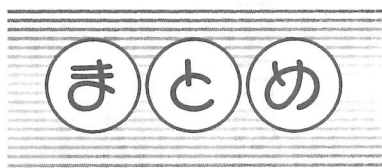
大総、横芝、上界の各地域の収納状況等を見ると、大総地域が好成績を収めているのが分かります。

収納状況と 納税組合加入状況

大総地域の収納率は99.6%であり、次いで上界地域の96.0%、横芝地域の94.4%の順になっており、納税組合加入状況についても収納状況と同様の順位となっています。

滞納状況

滞納額が最も少ない大総地域が、東町3の滞納額の4分の1にあたる九十四万三千元となっており、次いで上界地域の四百八十七万二千元、横芝地域の二千九百八十八万円の順となっています。



六十万七千円増えています。このほか、本町4が五十六万三千円、栗山1が四十七万七千円前年度より増えているのが目につきます。

(3) 区の有無にかかわらず

豊かな自然、みなぎる活力、そして心をつなぐ「まち」を基調テーマに、住民福祉の向上をめざして各種の事業を実施しているところですが、この財源は、納税者の方々の貴重な税金によって賄われています。したがって、税金の滞納が多ければ計画的な行財政運営に支障をきたすことは明白です。

(1) 62年度の収納状況は、

前年度と同様に、地区的にまとまりが良く、しかも納税意識の高い大総地域の各地区をはじめ、純農村地区が好成績を収めている反面、新住民あるいは新旧住民が混在する地区や、納税組合加入率の低い地区ほど収納率は低下しています。

(2) 滞納額も年々増加して

おり、なかでも、滞納額の多い東町3、南部2、南部1、東町1、古川の合計額は一千四百六万一千円であり、滞納総額の39%を占めています。この5地区の滞納額を前年度と比較すると、古川が四十二万七千円減ったほかは、東町3が二百六十万三千円、南部2が十八万三千円、南部1が百三万九千円、東町1が

(4) 滞納者のみならず、納

税は国民の二大義務のひとつです。税金は納めなくては済むものではありません。このため、町では、62年度に59件の差押えを執行しました。善良な納税者の方々のためにも、悪質な滞納者にはこれからも厳しい処分を行う方針です。

税金とは、納めるものであり、取られるものではありません。滞納者の猛省と納税を促したい。